

SSD/HDD ベンダー モデルおよびドライブ ファームウェアの識別

目次

[はじめに](#)

[UCSM マネージ デバイス](#)

[UCS Manager Webインターフェイス](#)

[コマンドライン インターフェイス \(CLI\)](#)

[UCSM Visore](#)

[Cシリーズ スタンドアローンデバイス](#)

[Intersight](#)

概要

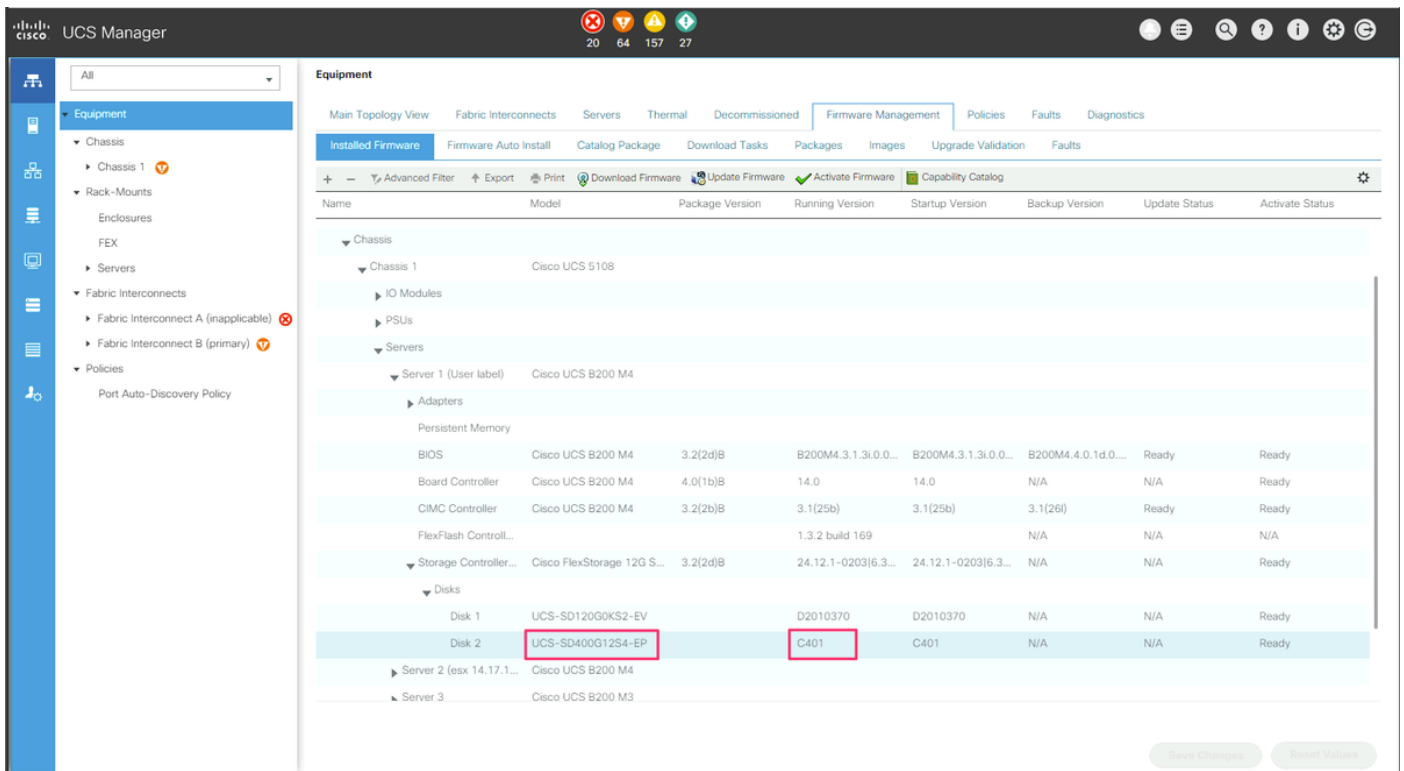
この技術情報はモデル仕様を得、UCS 環境の物理ディスクのバージョンを実行するために管理者手順を提供します。それは UCS Manager (UCSM) マネージ デバイス、Cシリーズ Intersight で要求されるスタンドアローンデバイスおよびデバイスにおけるさまざまな方法をカバーします。

UCSM マネージ デバイス

UCSM によって管理されるデバイスの場合管理者は少数のさまざまな方法を使用してドライブのファームウェアを判別できます。

UCS Manager Webインターフェイス

機器 > ファームウェア 管理への移動 > インストール済みファームウェア。このインターフェイスでは、Cisco製品識別 (PID) はベンダー モデルの代りに表示されます。ベンダー モデルの必要ならばフィルタリングを可能にの下でカバーされる他のメソッド。



コマンドライン インターフェイス (CLI)

管理者はまた動作バージョン モデルを得るのに CLI を使用。たとえば、[FN70545](#) から影響を受けたデバイスを識別したい管理者は下記のコマンドを使用します。

```
UCS-Domain-B# show server inventory expand | egrep "(^Server|Local Disk [0-9]|Model:
(LT0400MO|LT1600MO)|Device Version: [A-Z][0-9]{3})"
```

```
Server 1/1:
```

```
Local Disk 1:
Local Disk 2:
Model: LT0400MO
Device Version: C401
```

```
Server 1/2:
```

```
Local Disk 1:
Device Version: A005
Local Disk 2:
Device Version: A005
```

```
Server 1/3:
```

```
Local Disk 1:
Local Disk 2:
Device Version: A005
```

```
Server 1/4:
```

```
Server 1/5:
```

```
Server 1/6:
```

```
Server 1/7:
```

```
Local Disk 1:
Local Disk 2:
Local Disk 3:
Local Disk 4:
```

```
Server 1/8:
```

```
Server 1:
```

UCSM Visore

管理者は全体の環境を渡って問い合わせるのに UCSM Visore を使用できます。UCSM Visore は

https:// [UCSM VIP]でブラウザを /visore.html ポイントすることによってアクセスすることができます。クラスまたは DN のための storageLocalDisk、プロパティのためのモデルおよび Val1 のためのデバイス モデルを入力して下さい。たとえば、FN70545 から影響を受けた[デバイスを識別したい管理者は LT0400MOAND LT1600MO を入力します。](#)

